

夏休みも間近となりよした。皆様お元気にお過ごしでしょうか。

夏休みに、子どもたちがどんな本を読んだらいいのか？と悩まれる保護者の方も多いのではないのでしょうか。そんな時、まず先に手を出すべきのは課題図書かもしれませんが、みなさんは子どもたちの国語の教科書にたくさんの本が紹介されているのをご存知ですか？お子さんの教科書を一度開いてみて下さい。「この本、読もう」というタイトルで単元に関する本や学年に合わせたおすすめ本などが載っています。なかなか全部を制覇するのは難しいほどの量です。長い夏休み、この中から何冊か読んでみるのもいいかもしれませんね。

小学校の図書室にも、司書さんが「この本、読もう」のコーナーを作ってくれました。本がみつけやすいと好評です。

記録ノート
より

記録することでメンバー同士が情報の共有をし、次に読む本を選ぶ参考にしています。今回は、高学年のノートからご紹介します。

4年 「ヒンギスさんとけい」 ハット・ハッチェンズ作 たなかのふゆこ訳 しろふ出版

6/10は「時の記念日」なので、この本を選びました。ちょっとボケたヒンギスさんが時計を買ってくるたびに、子どもたちは「もったいないな〜」という反応でした。(ゆう)

4年 「あめのひのえんせく」 間瀬なおたか ひさかたチャイルド

出発をする時は雨ふり、トンネルを通り景色が変わる、変わる、ページごと！読み進めると最後には虹がかり、希望が持てる遠足の絵本。色彩が豊かです。大型絵本で読みました。(おひさま笑顔)

5年 「あぐたれラルフ」 ジャック・ガントス作 ニコールルベール絵 いしいももん訳 童話館出版

まあ、とにかくラルフのあぐたれ顔がすごいです。(笑)それだけでたのしみ楽しめる一冊。全くもってかわいいと思える所がないラルフを、「大好きよ」と言ってくれるセイラー家……愛があふれていてステキな本です。(ゆらく)

5年 「ぼくのものがりー あはたのものがりー」 ジュリアス・レスター文 カレン・バーバー絵 一人種について さくまゆみ訳 かんがえエウー 岩崎書店

子どもたちは、おしゃべりもなく、考えながら聞いてくれる様子かうかがえました。こちら(本)から問いかけるような内容なので、人種について考えるきっかけになればと思います。(すまいる)

夏休みのおすすめ本

低学年



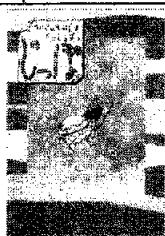
『なつのはらにち』 はた こうしろう 著 <偕成社>

低学年



『もりのアイスクリームやさん』 舟崎靖子 作 舟崎克彦 絵 <偕成社>

中学年



『じっぽ - まいごのかっぱはくしんぼう』 たつみや章 作 広瀬 弦 画 <あかね書房>

中学年



『目の見えないダン』 大西 伝一郎 文 山口 みねやす 絵 <学習研究社>

高学年



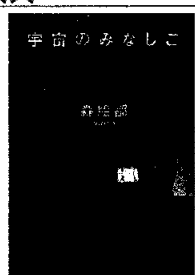
『山猫たんけん隊』 松岡 達英 作 <偕成社>

高学年



『カッパのぬけから』 なかがわ ちひろ 作 <偕成社>

大人



『宇宙のみなしご』 森 絵都 著 <角川書店>

お知らせ

今年度も、9月に「絵本や読み物の勉強会」を予定しています。

2学期に入りましたら、ご案内のおていりを発行しますのて、ご興味のある方はぜひ参加して下さいね。



150冊ほど本が
増えました!!
がんばって受け入れ
作業をしています。